

沖 労 基 発 0 4 2 6 第 1 号
平 成 3 0 年 4 月 2 6 日

一般社団法人 沖縄県高圧ガス保安協会 会長 殿

厚生労働省 沖縄労働局長



沖縄労働局第13次労働災害防止計画の策定について

日頃より労働行政とりわけ、労働災害の防止にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、労働災害につきましては、平成11年に死傷者が702人まで減少したのを境に、その後は増加傾向に転じ、平成29年は1,190人と昭和56年以降最多となっています。一方、労働者の健康面では、平成23年から定期健康診断結果の有所見率は6年連続全国ワースト1となっています。また、過労死やメンタルヘルス不調が社会問題としてクローズアップされる中で、働き方改革実行計画を踏まえ、労働者の健康確保対策やメンタルヘルス対策等に取り組むことが必要になっているほか、治療と仕事の両立への取組を推進することも求められています。このほか、胆管がんや膀胱がんといった化学物質による重篤な健康障害の防止や、今後増加が見込まれる石綿使用建築物の解体等工事への対策強化も必要となっています。

このような状況を踏まえ、現状の課題を解決すべく、2018年度を初年度として、5年間にわたり労働安全衛生行政として重点的に取り組むべき事項を示した「沖縄労働局第13次労働災害防止計画」を策定しました。

貴職におかれましては、本計画の趣旨をご理解いただき、会員各位にご周知いただくなど、労働災害防止対策の推進に特段のご協力を賜りますようお願いいたします。

